

夏場は食中毒が発生しやすい時期です。衛生習慣を守り、予防を心掛けましょう。〈9面に関連記事あり〉



編集・発行／厚木市政策部広報戦略課  
〒243-8511 神奈川県厚木市中町3-17-17  
TEL.046-223-1511(代) FAX.046-223-9951

## 勇気と感動をありがとう



市内のサッカー少女たちから花束を手渡され、笑顔で記念撮影する大儀見選手(後列左)と永里選手(同右)。スタンドには多くの市民らが詰め掛けた

### パブリックビューイングで地元から応援



市では大儀見選手と永里選手を応援しようと、決勝トーナメントの全4試合でパブリックビューイングを開催。地元厚木から開催地に向けて大きな声援を送りました。決勝戦では大儀見選手のゴールに、約180人のサポーターが総立ちで喜びました。

関スポーツ政策課 ☎225-2531

大儀見選手は「鷹尾小、荻野中、厚木東高校と進み、厚木市に育てられたという思いが強い。今は現役選手として励んでいるが、いつかサッカーで厚木市の皆さんに貢献したい」。永里選手は「こんなに大勢の人に来ていただいて驚いている。この町が好きです。これからも応援よろしくお願いします」と笑顔で話しました。2人の活躍は、市民の皆さんをはじめ、日本中の人々に勇気と感動を届けてくれました。これからもみんなで、誇らしい厚木市出身の姉妹を応援していきましょう。

関秘書課 ☎225-2001

日本代表

## 大儀見優季選手と 永里亜紗乃選手を 特別表彰

# 特別表彰

荻野運動公園の競技場で7月19日、市内鷹尾出身の姉妹、大儀見優季選手(28)と永里亜紗乃選手(26)に、市から特別表彰を贈りました。2人は、カナダで開催されたサッカー女子ワールドカップで、そろって日本代表に選出。厳しい戦いを勝ち抜き、準優勝を成し遂げました。表彰式には、約1000人の市民の皆さんが来場。世界の舞台で輝いた2人を、大きな拍手と声援で迎えました。2人がサイン入りボールをスタンドに蹴り込むと、ファンの皆さんは大盛り上がり。終始和やかな雰囲気になりました。

当日、大儀見選手は「鷹尾小、荻野中、厚木東高校と進み、厚木市に育てられたという思いが強い。今は現役選手として励んでいるが、いつかサッカーで厚木市の皆さんに貢献したい」。永里選手は「こんなに大勢の人に来ていただいて驚いている。この町が好きです。これからも応援よろしくお願いします」と笑顔で話しました。2人の活躍は、市民の皆さんをはじめ、日本中の人々に勇気と感動を届けてくれました。これからもみんなで、誇らしい厚木市出身の姉妹を応援していきましょう。

目次	2～7面 特集・平和へのメッセージ 太平洋戦争の終結から70年を迎え、戦時下の記憶を振り返るとともに、座談会を通して平和の尊さを考えます。	8面 助成を活用しエコな暮らしを 地球温暖化防止には、日々の省エネが必要です。市は助成制度を設け、エコな住宅の導入を支援しています。	9面 みんなで「早ね・早おき・朝ごはん」 夏休みは生活習慣が乱れがちです。子どもが健やかに成長できるよう、規則正しい生活を送りましょう。	10・11面 タウンガイド 催し・講座・子育て・募集・お知らせなど、暮らしに役立つ便利な情報が満載。
----	--	---	---	---

# 特集 平和へのメッセージ

## 第一部 記憶をつなぐ

ことは、太平洋戦争の終結から70年の節目を迎える。終戦時20歳だった若者も現在では90歳。戦争経験者は、年々減っていく。戦争を知らない世代が大多数を占める今、経験者から「平和へのメッセージ」を受け継ぎ、次世代につないでいくため、特集を企画した。第一部では、体験談から当時を振り返る。

### ―決死の雷撃と戦友の記憶―

## あの雲のかなたに

かつて、多くの若者が「お国のために」と、戦争に身を投じた。温水に住む春山義一さん（90）もその一人。爆撃機の乗組員として、弾丸の雨をかいくぐりアメリカ艦隊に魚雷攻撃を仕掛けた。死と隣り合わせの戦場で、春山さんが見たものとは――。



春山さんが搭乗していた爆撃機「飛龍」



18歳の春山さん。飛行機に憧れを抱く若者だった

**用語解説**

(注1) 軍艦や航空機などによる、水中兵器「魚雷」を使用した攻撃

(注2) 太平洋戦争後期に投入された爆撃機。操縦員2人、偵察員1人、通信員1人、整備員1人、射撃員2人の7人で運用した

(注3) 20歳の男子に対して、兵役の資質を判定する身体・身上検査

(注4) 昭和17年6月に日米の海軍が繰り広げた大規模な海戦。航空母艦と戦闘機を多数失い、太平洋戦争における主導権を奪われた

(注5) 発射すると発光して弾道を目視できるようにした弾丸

(注6) 昭和天皇が終戦の詔書を読んだラジオ放送

(注7) 昭和17年8月に西太平洋ソロモン諸島のガダルカナル島をめぐる日米両軍の激戦。米軍の物量に圧倒され、後に同島を撤退

(注8) 少年飛行兵を育成する海軍の航空兵養成制度。太平洋戦争末期には特攻隊要員の訓練をした

(注9) 爆弾を載せた航空機や高速艇などで乗組員ごと体当たりする部隊

(注10) 海軍兵器工場や航空技術開発の研究所などがあつた平塚への米軍による空爆

(注11) 米軍各地への空襲のほか、広島・長崎への原爆投下にも使用された

(注12) 発火性の薬剤が入った爆弾

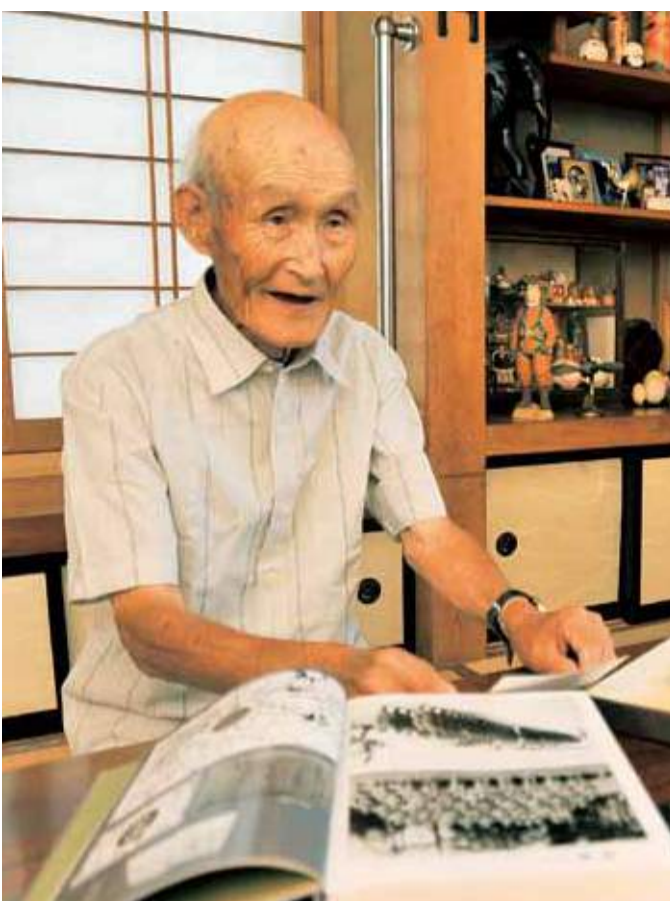
だけが損傷した機体の修理に当たるよう命じられ、その場にとどまった。代わりに飛龍へと乗り込んだのは、一緒に訓練を受けてきた整備士だった。春山さんは、仲間と出撃できない悔しさを抱えながら飛龍を見送った。出撃した飛龍は戦場を巡った。しかし、基地を目前に火を噴きながら山林に墜落し、炎上。仲間が皆遺体となって見つかった。

### 終戦。そして・・・

日本各地の基地を転々として迎えた8月15日。この日は、真夏の太陽が容赦なく照り付ける暑い日だった。玉音放送は、寄宿していた埼玉県の小学校で聞いた。血気盛んな将校が「これから特攻だ」と願いだ。しかし、春山さんにもう戦う意志はなかった。

戦後は、戦友が眠る墓や実家を訪ね、遺族に仲間との思い出を伝えた。おとしも7人の慰霊碑がある宮崎県三股町を訪れ、亡き友の冥福を祈った。

「私の代わりに搭乗した藤谷善一は、体が大きく真面目な男はずだった。彼の人生を奪ってしまった悔しさと、自分だけが生き残った後ろめたさは、70年たったでも消えません。私は今まで、戦争の話をせずに生きてきました。取材を受けたのは、共に戦った仲間のためにも話した方が良かったからです。尊い命を奪い合う戦争はむごたらしいものです。勝っても負けてもつらい思いしか残らない。それが戦争なのです」



当時を振り返る春山さん

「アメリカ艦隊への雷撃を命じられたのは、昭和20年3月26日のことでした。雷撃は、3回出撃して生還した者はいないとされる任務です。その夜、訓練を共にしてきた7人の搭乗員で酒を酌み交わしました。「お国のために立派に責任を果たそう」。そう語り合った私たちは翌日の夕刻、爆撃機「飛龍」に乗り込み、沖繩へ向けて出撃しました」

### お国のために戦う

春山義一さんは、戸室の農家の5男として生まれ育った。4人の兄はいずれも徴兵検査を受け兵隊となっていた。「いずれれ徴兵されるならば」と、16年4月に陸軍航空隊に志願。当時、まだ16歳の若者だった。

同じ年の12月8日、日本軍はハワイ真珠湾を攻撃し、太平洋戦争が始まった。春山さんはこの時、新兵訓練として、敬礼などの基本動作や兵器の扱い方、軍人精神を朝から晩までたたき込まれていた。開戦の報を聞く「やっとお国のために戦える」

### 爆撃部隊への配属

新兵訓練を終えた17年4月、春山さんは戦闘機の整備士に選ばれ、航空整備学校に入った。エンジンの分解や組み立てを通して、構造や力学などの専門知識と技術を学んだ。

日本軍はこの頃、ミッドウェー海戦などに相次いで敗れ、戦況は悪化の一途をたどっていた。春山さんは予定を早めて学校を卒業。爆撃機部隊である飛行第98戦隊に配属された。進攻を強めるアメリカ海軍艦隊への攻撃が急務となり、戦隊には雷撃の訓練が命じられた。

### 決死の出撃

19年10月、沖繩に迫るアメリカ艦隊への雷撃が始まった。残

20年4月、ついにアメリカ軍が沖繩に上陸した。本土への空爆は激しさを増し、鹿屋基地も壊滅的な被害を受けた。そんな中、5月6日に再び出撃命令が下った。しかしこの日、春山さん

### 戦友の死

「私の代わりに搭乗した藤谷善一は、体が大きく真面目な男はずだった。彼の人生を奪ってしまった悔しさと、自分だけが生き残った後ろめたさは、70年たったでも消えません。私は今まで、戦争の話をせずに生きてきました。取材を受けたのは、共に戦った仲間のためにも話した方が良かったからです。尊い命を奪い合う戦争はむごたらしいものです。勝っても負けてもつらい思いしか残らない。それが戦争なのです」



春山さんが着用していた戦闘服



三股町にある飛龍乗組員の慰霊碑

## 戦没者追悼式



先の大戦で尊い命をささげられた戦没者を追悼します。戦争の悲惨さを語り継ぎ、平和への決意を新たにしましょう。

【日時】 8月24日 10時30分～11時40分  
【会場】 文化会館

## 被爆樹木植樹式

恒久平和の象徴として、被爆樹クスノキの植樹を実施します。クスノキは、厚木市が参加する平和首長会議を通じて長崎市から贈られました。

【日時】 8月9日 11時～(長崎原爆の日)  
【会場】 厚木中央公園  
問 福祉総務課 ☎225-2200

## 広報あつぎ特集 「平和へのメッセージ」パネル展

特集に掲載しきれなかった体験談や写真などを展示します。

【期間】 8月12～28日  
【場所】 あつぎ市民交流プラザ



山本好敬さん提供

中島政次郎さん提供



笹生和敦さん提供

問 広報戦略課 ☎225-2040

## 忘れられない友の姿



森住 惣一郎さん (87・三田)

私は兵隊として出征しませんでした。近所でも多くの若者が戦場に赴きました。ある日、親しい友人が海軍飛行予科練習生(注8)になることを報告に、私を訪ねてきました。その時期、練習生になるということは、特攻隊(注9)として戦闘機で敵に体当たりすることを意味していました。「もうお別れだ」と敬礼しながら涙を流す姿に、私は掛ける言葉もなく立ち尽くすばかりでした。結局、その友人は戦死してしまいました。

もう一つ、忘れられない記憶があります。教師になるため青年師範学校で学んでいた時、平塚空襲(注10)に遭ったのです。昭和20年7月16日の夜、上空にB29(注11)が殺到し、膨大な量の焼夷弾(注12)を落としました。私は寮から出て花水川に架かる橋の下に隠れました。しかし、戦闘機が川沿いを機銃掃射してきたので、慌てて逃げ出しました。その時の逃げ惑う人々が発するうめき声、わめき声は、今でも耳から離れません。中には、弾丸の直撃を受けた女の子をおぶって逃げるお母さんの姿もあり、悪夢を見ているようでした。

戦争は、親しい人の命を奪い、考えられないほどの悲しみを生み出します。決して起こしてはいけません。



茨国立公文書館蔵 平塚市博物館提供 街を焼き払った平塚空襲

## 死を覚悟した激闘の海戦



中島 政次郎さん (97・緑ヶ丘)

16歳の時、海軍軍楽隊に入隊しました。私たちの役目は、儀式などでの演奏や軍のPR、兵士の慰問でした。戦闘時には、傷病兵の対応や艦の応急修理、暗号解読の手伝いなどの任務もありました。

昭和17年6月には、ミッドウェー海戦に参加しました。私が乗艦していた巡洋艦「愛宕」は無事でしたが、戦いには大敗しました。その後出撃したガダルカナル島の戦い(注7)では、夜甲板で涼んでいたところに、突然えい光弾が飛んできて戦闘が始まりました。月明かりも見えない闇夜の戦いに、恐ろしさから思わず「おっかー」と叫びました。戦死する覚悟はできていましたが、戦地でも家族、特に母親のことはよく思い出していました。

南方では病にかかることもありましたが、治るとすぐに復帰しました。上海に駐留していた時に終戦を迎え、武装解除を受けて捕虜となりました。故郷に帰ったのは21年3月。負けておめと帰るのが情けなくて、人と顔を合わせないよう裏道を帰ってきました。

戦争に行くのは当たり前だと思わせてしまう社会は恐ろしいものです。偏った考え方に閉じ込められず、平和を保つ努力をすることが大切なのだと思います。



中島政次郎さん提供 儀式や行進では音楽隊が華やかに演奏

## 苦難のシベリア抑留



山本 善一さん (92・戸田)

陸軍歩兵部隊だった私は終戦間近、満州で国境警備をしていました。昭和20年8月9日の夜明け、ソ連が奇襲攻撃を仕掛けてきました。部隊は戦闘態勢も組めず、散り散りになってしまいました。

逃げ始めて3日目、敵の戦車が50台前方に現れました。機関銃が乱射され、隣にいた戦友は命を落としました。私は運良く逃げ切りましたが、その後は食うや食わずの逃亡でした。そして、敗戦を知った8月17日、武装解除を受けました。シベリアに連行される道中には、逃げ切れなかった戦友の遺体が多数あり、悲惨なありさまでした。抑留中は、草刈りや木の伐採などの労働を強いられました。氷点下30度を超える寒さの中、厳しいノルマがのし掛かり、苦難に満ちた2年間でした。

飢えて亡くなる仲間もたくさんいました。1日300gのパンと塩水のようなスープしか与えられなかったのが当然です。戦闘ではなく飢えて亡くなったとは、痛ましくて遺族にも話せません。遺体は浅い穴に埋め、木に鉛筆で名前を書いた墓標を作って供養しました。戦争では、法も何も無くなります。平和を維持するのは難しいことですが、今の暮らしが永く続くことを祈ります。



森久保幸也さん提供 最前線で戦う機関銃中隊に配属された



戦争経験者の話を聞く両角さん(右)

# 特集

平和へのメッセージ

## 第二部 平和をつなぐ

第二部では、戦争経験者の記憶を残し、「戦争と平和」を広く問い掛ける両角慶太さん(40)の取り組みを取材した。次のページでは、両角さんをコーディネーターに迎えて開催した、経験者と中学・高校生の座談会の模様を紹介。未来を担う若者に平和の尊さについて考えてもらった。

プロジェクトでは、戦争経験者とのディスカッションや動画の上映会などのイベントも開催。取材に協力して下さる経験者やスタッフ、イベント会場提供者を募集中。

11945  
www.ichikyuyougo.com

両角さん ☎090-8502-9152  
e-mail=keita.morozumi@brightone.org

「1945」戦争を知っているおじいちゃんおばあちゃんの話は、戦争経験者のインタビュー動画を集めたウェブサイトに。二つとない戦争証言を広く共有して欲しいと、両角さんが立ち上げたプロジェクトだ。雑誌やテレビでも紹介されるな

「あの時は本当に死ぬかと思いましたが、語り出す戦争経験者の体調を気遣いながら、両角さんは静かに話を促している。経験者もカメラが回っていることを忘れ、70年前を振り返る。取材を終えた両角さんは充実した表情を浮かべた。「つらい記憶ばかりだけど、話せて良かったという方が多いんですよ」

# 生身の体験を継ぐ

「おじいちゃん、おばあちゃんが伝えるもの」戦争の記憶を未来につないでいこうと活動する人がいる。上依知に住む両角慶太さん。ウェブサイトに戦争経験者の体験談を映像で公開し、世の中に「戦争と平和」を問い掛けている。

「戦争だけは本当に駄目」。取材した経験者に共通する言葉。戦争の経験者には「戦争の経験は、知人を通じて取材対象者を見つけ、手探りで進められた。仕事の傍ら、時間を見つけてはカメラを携え全国を飛び回っている。次第に、「取材に同行したい」「何かできることはないか」といった声が寄せられるなど、反響も出てきた。

「動き出した記憶の継承」ウェブサイトのデザイナーなどを仲間に加え、昨年3月ごろから準備を始めた。ホームページの作成や運営、取材などに要する費用は支援金を募った。目標金額には、ことし3月1日のウェブサイトに開設直前に達した。

「あつぎ」には戦争反対以外のメッセージは込めていない。「偏りある考えを主張するものにはしたくない。どう思うの、どう考えるかは見た人に委ねたい」。この姿勢は、プロジェクトを運営する上で根幹を成す。あくまでも中立の立場から「戦争と平和」を問い掛けている。

「戦争と平和」を問い掛けている。両角さんには2人の幼い息子がいる。「我が子が戦争に行く場面は見たくない」と平和をつないでいく責任を強く感じている。自分自身も未来を模索する日々は続く。

「戦争と平和」を問い掛けている。両角さんには2人の幼い息子がいる。「我が子が戦争に行く場面は見たくない」と平和をつないでいく責任を強く感じている。自分自身も未来を模索する日々は続く。

## 「平和と戦争」を考える 図書の特設コーナー

ピースプロジェクトチーム(6面参照)によるブックレビュー(抜粋)



**おこりじぞう(絵本)**  
原爆投下後にすぐく喉が潤っているひろちゃんに、お地蔵さんの涙で水を飲ませてあげたら...

### ガラスのうさぎ

戦中戦後は切符を並んで買い、何時間も掛けて移動していた。物の大切さ、家族のありがたみがよく分かる一冊



**まっ黒なおべんとう(絵本)**  
戦争に家族が行ってしまった悲しさや、子どもがいなくなってしまう悲しさがよく分かる本

### くちなしの花 八月

広島で8月6日に落とされた原爆。友人も好きだった人も死んでしまったら、あなたはどうしますか

### まちゃんと

8月6日に爆風が広島を襲った。生き残った少女のために、母親はトマトを探しに行った。戻った母親が見たものとは...

図中央図書館 ☎223-0033

期間 8月1日～9月2日  
場所 中央図書館

# 戦時下の暮らし

厚木は大きな空襲に襲われなかったものの、出征者を含め1500人あまりが戦争の犠牲となった。長引く戦時下では物資が窮乏。人々は食糧・物資の供出や空襲に備えた灯火管制、勤労奉仕など、不自由な生活を強いられた。証言から当時の暮らしを振り返る。

昭和  
16年12月8日 太平洋戦争開戦  
19年8月 横須賀をはじめとした都市部の学童が厚木に集団疎開を開始  
11月 神奈川県下への空襲が始まる  
11月 荻野村に火薬廠疎開工場建設  
20年2月16日 中津飛行場が空襲を受ける。現在の森の里小学校付近に日本軍の戦闘機が墜落し爆発  
2月17日 米軍機が本厚木駅を機銃掃射  
3月10日 東京大空襲  
4月19日 厚木上空で空中戦が展開され日本軍機が及川村に墜落  
同日 相川国民学校と相川村役場が機銃掃射を受ける  
5月頃 陸軍の部隊が厚木に駐屯  
7月頃 小田急線下り電車が奇襲を受け乗客に多数の死傷者が発生  
7月10日 本厚木駅、電車、学校、工場が攻撃され、大きな被害が発生  
7月16日 平塚空襲  
8月15日 昭和天皇による玉音放送

参考資料 県史文庫第42号



梶山好一さん提供

## 強制収用された所有地

昭和19年、現在の荻野運動公園付近に海軍の火薬工場が平塚から疎開してきました。周辺一帯の土地が強制的に収用され、工場や煙突が建てられました。結局、終戦までに火薬を本格的に製造することはできなかったようです。当時はエネルギー不足が深刻で、近所の田んぼには、松の木の根から油を取る研究施設がありました。ある時、施設の煙突から煙が出ていたことで、敵戦闘機に焼夷弾を落とされたことがありました。死傷者は出なかったものの、大きな衝撃と恐怖を感じました。



かじやまこういち 梶山好一さん (86・中荻野)



寺の鐘などの金属や米の供出(依知村)



勤労奉仕や防空訓練などをした婦人会(荻野村)



上依知から愛川町に広がっていた中津飛行場



たかはしなみよ 高橋奈美代さん (93・上荻野)

## 厳しい戦時下の生活

都会ほど食糧には困りませんが、食べ物や金物は供出ししなければならず、生活は決して楽ではありませんでした。男性は、ほとんど兵隊に取られてしまいましたので、女性が家を守らなければなりませんでした。

私の夫は結婚直後に出征。国防婦人会がたすきを作り、村を挙げて夫を送り出しました。沖縄に行ったとの知らせが届き、未亡人になる覚悟をしました。片足を失ったものの、夫が生きていると聞いた時は本当にうれしかったです。



岩崎稔さん提供

村を挙げて開催した出征壮行会(相川村)

## 空襲におびえる日々

今の内陸工業団地にあった中津飛行場に向かって低空飛行する、アメリカ軍戦闘機の爆音がとても怖かったです。警報が鳴ると、夢中で近くの防空壕に隠れました。夜は電気を消し、耳をふさいで布団に潜り込みました。

中津飛行場では、勤労奉仕で草刈りをしました。防空頭巾をかぶり、家から鎌と弁当を持って行きました。飛行場周辺の子どもたちは、たびたび動員されていたようです。草だらけの広い土地で、慣れない作業をするのは、とても大変だったことを覚えています。



もりすみきよこ 森住喜世子さん (84・三田)



旧制厚木中学校(現厚木高校)生徒による軍事教練

## 戦争遺品展示

出征旗やたすき、飛行服など、遺品や当時の生活状況が分かる品を展示します。  
《期間》8月1～30日  
9時～17時  
《会場》郷土資料館



郷土資料館 ☎225-2515

## 市民の戦争体験を紹介

特集で紹介した方をはじめ約15人の市民の体験談をマイタウンクラブ「あつぎ地域SNS」で8月1日から紹介します。  
マイタウンクラブ 検索

## 学校は軍事教練の場

戦時下の中学校には将校が配属されていて、軍事教練があるのが当たり前でした。軍の行進や隊列を組むことを学び、上級生になると銃の分解や射撃訓練もありました。また、学生は軍需工場の働き手としても動員されました。



みつはしおさむ 三橋修さん (85・小野)

昭和20年、市内の小学校に陸軍が駐屯してきました。玉川小には、相模湾決戦に備えて司令部が置かれ、周辺の農家や温泉宿には将校が寄宿していました。私の家にも将校が泊まっていて、私が海軍飛行予科練習生になる時に鯛と砂糖を贈ってくれました。

# 特別座談会 戦争と平和を考える

ピースプロジェクトチーム

東郷 奈々さん(17)  
吉川 俊さん(14)

戦争経験者



杉山 潔さん(92)  
川田 あきさん(92)

コーディネーター  
両角 慶太さん(40)



川田 あきさん(飯山)

飯山生まれ。10人兄妹の末っ子。昭和12年に小鮎尋常高等小学校(現小鮎小学校)を卒業し、横浜の看護学校に1年間通う。川崎の病院に勤めたが、兄の出征に伴い、実家に戻り農業を手伝う。茅ヶ崎の軍需工場に勤めている時に、アメリカ軍戦闘機の空襲を受ける。終戦後、海軍の志願兵だった夫と結婚した。



東郷 奈々さん(三田)

中央農業高3年。買い物に困っている高齢者のため、移動販売で起業を目指す。修学旅行で訪れた沖縄で戦争経験者の話を聞き、戦いの怖さとは違う、体験者の生の声を残していきたいと思っている。

戸田生まれ。6人兄弟の長男。昭和19年2月に出征、戦闘時最前線で戦う陸軍機関銃中隊に配属される。4カ月にわたり戦闘訓練を受けるが、その後体調を崩して編成が替わり、満州とソ連の国境警備に当たる。20年8月、ソ連の奇襲攻撃を受けた末捕虜となり、シベリアで2年間の抑留生活を送った。

戸田生まれ。6人兄弟の長男。昭和19年2月に出征、戦闘時最前線で戦う陸軍機関銃中隊に配属される。4カ月にわたり戦闘訓練を受けるが、その後体調を崩して編成が替わり、満州とソ連の国境警備に当たる。20年8月、ソ連の奇襲攻撃を受けた末捕虜となり、シベリアで2年間の抑留生活を送った。

戦争の悲惨さや平和の尊さを伝えていく役目は、戦争を知らない世代に引き継がれようとしている。そこで今回は、市内の中学、高校生で構成する「ピースプロジェクトチーム」(右下欄参照)のメンバーと、当時を知る戦争経験者を迎え、座談会を開催。世代を超えて「戦争と平和」を考え、意見を交わした。

### 戦時下の暮らし

両角 まずは川田さん、当時の生活はどうだったのでしょうか。川田 田舎暮らしでした。食糧は配給でした。みそやしょうゆはちろん、塩に漬けたマスをもらったこともあります。ご飯には麦やサツマイモ、ジャガイモ、ダイコンなどを入れます。

### 出征と戦地

両角 川田さんは、空襲にも遭っていますよね。川田 勤め先の茅ヶ崎で、姉と窓から外を眺めていたら戦闘機が低空飛行で近づいてきて、攻撃してきました。その時は、死んでしまおうかと思いました。両角 日常生活の中に空襲がある恐怖を東郷さんはどう思いますか。東郷 私なら夜も眠れなくらい不安だし、精神的につらいです。いっとうなるかも分からないので、とても怖いです。

### 平和を考える

両角 戦地でも国内でもたくさんの方が亡くなったことについてはどう思いますか。東郷 授かった命なのに、簡単に殺したり、殺されたらはいけないと思います。人を殺すに行くというのは、私には怖くてできないです。さっきまで生きていた仲間が死んでしまうこともあると想像すると、本当に怖いです。

### 戦争を防ぐには

両角 川田さんは終戦を知ってどんな気持ちになりましたか。川田 まず、良かったなと思います。怖い目に遭わなくていいから。ただ、連合軍軍に出くわしたらどうしようという不安がありました。両角 東郷さんと吉川さんは、どうすれば戦争を防げと思いますか。東郷 一人一人の力は弱いかもしれないけれど、集まれば強くなるので、私たちの世代が戦争を起させない活動や呼び掛けを積極的に行う、若い世代にもつなげていかなければいけないと思います。



撮影場所：文化会館  
戦争経験者の体験談を聞いた学生が活発に質問をするなど、世代を超えて意見が交わされた

映像で伝える 平和へのメッセージ  
あつぎ 元気Wave  
CATV 8/1~放送  
放映日 8月1~15日  
①12時~  
②19時30分~  
③22時45分~  
(各15分間)  
今回の座談会の様子をケーブルテレビ「あゆチャンネル」(11ch)と市ホームページでお届けします。  
関広報戦略課☎225-2040

よしかわ しゅん 吉川 俊さん(下狹野)  
睦合中2年。陸上部在籍。市の職員や学校の先生を目指して勉強中。  
戦争には、何も分からない小さい子どもまで巻き込まれ、兵士にされたり捕まったりしてしまうので、絶対にあってはいけないと考えている。



吉川 みんなが笑顔でいられることが平和だと思います。簡単ではないけれど、地域や国で協力して、そういう環境をつくっていかないといいと思います。両角 そうですね。今日は皆さん、ありがとうございました。

東郷 日本が平和だと思っても、海を越えればまだすごく大変な国もあって、栄養失調で亡くなる小さな子どももたくさんいます。国と国が助け合っていないと世界中が平和にはならないので、平和は永遠のテーマだと思えます。川田 平和はありがたいこと。みんなでなるべく平和であるように努めるべきです。忘れてはいけません。この世から消えてはならないことだと思います。杉山 戦争は丈夫な人を痛めつけ、物を壊すということ。対立してしまっただとしても、文化を超えて相手と理解し合いたいですね。

平和都市推進事業  
ピースプロジェクトチーム  
次世代に平和の尊さを継ぐため、市内在住の中学・高校生15人で「厚木市ピースプロジェクトチーム」を結成。戦時下の厚木の様子や戦争関連の本を紹介する冊子の作成、メッセージ展示会を企画しています。

ピースメッセージ展示会  
市民の皆さんなどから寄せられた戦争や平和に対するメッセージを展示します。思いを共有し、平和の在り方について考えましょう。  
日時 8月8~10日 9時~17時  
会場 あつぎ市民交流プラザ  
関福祉総務課☎225-2200

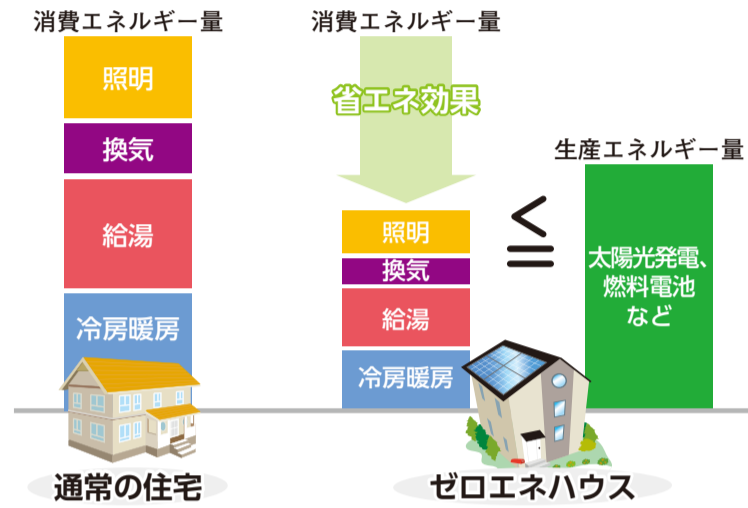


家庭の消費エネルギーを管理するHEMS

トピック  
環境

# 環境に優しい住宅の導入を後押し 助成を活用しエコな暮らしを

地球温暖化を食い止めるには、それぞれが日々の生活の中で省エネに取り組まなければなりません。市は全国でも指折りの充実した助成制度を備え、エコな住宅の導入を支援しています。上手に活用し、環境に優しいまちをみんなで作っていきましょう。



ゼロエネハウスは、省エネをしながらエネルギーをつくり出すことで、実質のエネルギー消費をゼロ以下にします

省エネ住宅の導入を後押しするため、市ではさまざまな助成制度を備えています（左下欄参照）。ことしから新たに、太陽光発電システムと蓄電池、エネルギー管理システム（HEMS）を同時に導入した方への「スマートハウス加算」と、太陽熱利用システムを導入した方への奨励金を設けました。助成を充実させ、環境に優しいまちづくりを進めています。

**最先端の住宅導入を支援**

近年注目されているのは、生産するエネルギーが、消費するエネルギーと同じかそれ以上の住宅「ゼロ・エネルギー・ハウス」（ゼロエネハウス）です（左図参照）。市は全国で唯一、ゼロエネハウスへの助成を実施。導入した方に奨励金を交付しています。

ゼロエネハウスは、断熱性や気密性、通風採光性を高め、照明をLED（発光ダイオード）化することで、使用するエネルギーを抑えた住宅です。さらに、太陽光発電や燃料電池などでエネルギーをつくり、HEMSでエネルギー

## 市の助成制度

市では環境に優しい住宅の導入を支援しています。

### ゼロエネハウス導入奨励金

《対象》国のゼロエネハウスの補助金を得て①高断熱②住宅設備の省エネ性能を向上③生産エネルギーが消費エネルギー以上になる一の全てを満たした住宅《交付金額》10万円《予定件数》3件

### スマートハウス導入奨励金

- ①住宅用太陽光発電システム  
《交付金額》1㎡当たり1万円（上限3万円）《予定件数》300件
- ②住宅用蓄電池システム  
《交付金額》5万円《予定件数》20件
- ③エネルギー管理システム（HEMS）  
《交付金額》1万円《予定件数》100件
- ④家庭用燃料電池システム  
《交付金額》5万円《予定件数》20件
- ⑤強制循環型太陽熱利用システム  
《交付金額》5万円《予定件数》4件
- ⑥スマートハウス加算（①②③を同時に設置した方が対象）  
《交付金額》5万円《予定件数》10件



住宅用の太陽光パネル

環境政策課 ☎225-2746

## 市民協働提案事業

### みどりのカーテンぐらんぷり 2015

#### 応募者大募集

楽しみながら省エネができる「みどりのカーテン」のコンテストを開催します。

- 対象** 市内の個人・団体・企業
  - 応募期間** 8月31日、17時（必着）まで
  - 審査方法** 1次審査（写真審査）2次審査（現地審査）
  - 表彰部門** 個人部門、団体部門、企業部門など
- ☑直接、電話または環境政策課にある応募票（市ホームページからダウンロード可）に必要事項を書き、郵送、ファクス、Eメールで 〒243-8511環境政策課 ☎225-2746 ・ FAX223-1668 ・ e-mail=3100@city.atsugi.kanagawa.jpへ。



昨年のグランプリ

## 今が活用のチャンス

### できることから省エネを

住宅を省エネ化するには、外壁や床の断熱化、サッシの二重化などの方法もあります。国では省エネ住宅への改築や新築をする方に、名産品や商品券などと交換できる「省エネ住宅ポイント」を発行しています。市や国などの助成制度を活用し、できることからエコな暮らしにしていきたいと思います。

環境政策課 ☎225-2746

# ひとまち元気



駅南口の再開発に向けて協定を締結

厚木市長 小林 孝良

22階建ての再開発ビルや駅前広場の拡充整備に向け、事業が動き出しました。南口再開発をめぐっては紆余曲折がありました。市が基本構想を策定したのが平成8年。9年後によりやく権利者による準備組合が設立されましたが、北京五輪による資材の高騰などで事業化が進みませんでした。

「魅力ある市街地をつくり、厚木をもっと元気になりたい」。皆さんの思いは、市長である私の思いでもあります。市は25年度に「南口再開発事務所」を新設。再開発を後押ししてきました。

森の里東地区では、半世紀ぶりとなる産業系の土地区画整理事業が始まりました。新東名高速道路や厚木秦野道路の建設も進み、四つのインターチェンジが置かれます。さらなる発展のチャンスを生かすため、これからも魅力あふれるまちづくりを進めていきます。



バランスの取れた朝食を元気に食べる子どもたち

トピック 生活習慣

子どもたちの健やかな成長のために

# みんな「早ね・早おき・朝ごはん」

子どもたちが元気に成長していくためには、適度な運動、バランスの取れた食事、十分な睡眠が必要です。夏を楽しく過ごすためにも、「早ね・早おき・朝ごはん」を合言葉に、規則正しい生活を送りましょう。

夏休みなどの長い休みに入ると、つい夜更かしをする機会が増えてしまいます。生活習慣が乱れると、日中のだるさや疲れやすさに結び付きます。一日の生活リズムをしっかりと保つには、早い時間の睡眠・起床や、朝食をきちんと取ることが大切です。

## 体内時計を整えよう

私たちの体には、1日周期でリズムを刻む体内時計があり、朝太陽の光を浴びることでリセットされます。意識しな

くても日中は心と体が活発になり、夜間は休息状態に切り替わります。

毎朝早く起きていると、体内時計が習慣化され、自然に朝早く目覚めるようになります。さらに、早起きは昼間の体の活動を促すため、夜も早く眠りに就けます。

一方で、スマートフォンやテレビゲームなどに熱中して夜更かしをする生活が続くと、体内時計は乱れてしまいます。一度リズムが狂うと、元に戻すのは大変です。夜更かしをしても、

いつも通りの時間に起き、体内時計を乱さないようにしましょう。

## 朝食は元気の源

子どもたちが健康な毎日を過ごすには、栄養バランスが取れた朝食をきちんと取ることが大切です。東海大学スポーツ医学研究所の小澤治夫教授(65)は「最近朝食を取らない子どもたちが増えている。しっかり食べる」と話します(左上参照)。

体は寝ている間にもエネルギーを消費するため、朝は体力が消耗しています。食事でエネルギーを補うことで脳が活動を始め、勉強や運動への集中力が高まります。朝食は一日を過ごすための元気の源です。

## まずは大人が見本を

子どもたちが規則正しい生活習慣を身に付けるには、家庭での保護者の関わりが不可欠です。大人の生活リズムの乱れは、子どもにすぐに影響してしまいます。まずは大人が見本を見せることが重要です。

小学生から中学生にかけて、子どもは大切な成長期を迎えます。家族で規則正しい生活を送り、楽しい夏を過ごしましょう。

園社会教育課 ☎225-12513

## 8月1～7日は食中毒予防週間 食中毒を予防しよう



食中毒は、菌やウイルスが付いたものを飲食すると発症します。三つの衛生習慣を守り、症状が出たら適切に対処しましょう。

### 守ろう三つの衛生習慣

- ①菌・ウイルスを「つけない」  
食品、手、調理器具はしっかりきれいに洗いましょう。
- ②菌・ウイルスを「増やさない」  
生鮮食品はすぐに、冷蔵庫や冷凍庫にしまいましょう。冷蔵庫は10度以下、冷凍庫は-15度以下に保ちましょう。
- ③菌・ウイルスを「やっつける」  
加熱調理では、食品の中心まで十分に火を通しましょう。調理器具は洗った後、熱湯や消毒剤でしっかり消毒しましょう。



### 「もしかして食中毒？」と思ったら

- 症状をチェック  
吐き気、下痢などの症状がないか確認しましょう。
- 緊急の場合は応急処置  
水分補給をして、嘔吐物による窒息に気を付けましょう。
- すぐに医療機関で受診  
受診前は胃薬や下痢止めは服用しないで、食べた物と時間、便の様子などを医師に伝えましょう。
- 二次感染を防止  
嘔吐物や便などに直接触れないようにしましょう。触れてしまったら、せっけんでしっかり洗い、アルコールなどで消毒しましょう。心配な場合は、厚木保健福祉事務所(☎224-1111)に相談しましょう。



園健康医療課 ☎225-2174

自然体験活動の新拠点  
「(仮称)健康こどもの森」名称募集

荻野運動公園北側に整備を進めている「(仮称)健康こどもの森」の名称を募集します。子どもたちが豊かな自然と触れ合いながら遊び、学ぶことができる、自然体験活動の新たな拠点となる施設です。

募集内容	施設の名称(自作で未発表のもの。1人1点まで)
対象	市内在住在勤在学の方
募集期間	8月1～31日(必着)
応募方法	①市ホームページにある入力フォームから応募 ②市政情報コーナー、公民館などにある応募用紙(市ホームページからダウンロード可)に必要事項を書き応募箱に投函するか、直接または郵送、ファクス、Eメールで〒243-8511公園緑地課 ☎225-3027・e-mail=4800@city.atsugi.kanagawa.jpへ。
選考	数点に選考後、市民投票で決定
賞	賞状・副賞あり(同一名称が複数の場合は抽選)

園公園緑地課 ☎225-2412

### 厚木児童思春期精神保健講座「第21回本講座」

8月8日、14時30分～16時45分。レンブラントホテル厚木（中町2-13-1）。「児童精神科医50年から見てきたもの～医療・教育・福祉の現場を通して～」がテーマの講演。定員50人。無料。☎8月6日までに青少年教育相談センター☎225-2520へ。抽選。☎☎152168①

### 食品衛生責任者養成講習会

8月21日、10時～17時。厚木商工会議所。食品衛生責任者の資格取得のための講習会。定員150人。1万円。証明写真2枚（縦4センチ、横3センチ）をお持ちください。☎8月10日、13時30分～16時に厚木商工会議所で受け付け。先着順。☎厚木地区食品衛生協会☎222-7643。

### 体育協会のスポーツ教室

■初級・中級ジュニアテニス教室  
9月2・4・9・11・16・18日（全6回）、17時30分～18時50分。市内在住の小中学生30人。2000円。☎☎152095

### ■第2回初級・中級テニス教室

9月2・4・9・11・16・18日（全6回）、19時～20時45分。市内在住の勤在学で高校生以上の方50人。2500円。☎☎152096

### ■初級・中級卓球教室

9月4・8・11・16・18日（全5回）、18時30分～20時30分。市内在住の勤在学で小学生以上の方40人。2000円。☎☎152150

いずれも会場は、南毛利スポーツセンター（温水西1-27-1）。内容は基礎技術の講習。☎ハガキまたはファクスに教室名、〒住所、氏名（ふりがな）、年齢（学年）、電話番号、性別を書き、8月15日（必着）までに〒243-0039温水西1-27-1市体育協会☎247-7212・☎248-7151へ。抽選。

### あつぎスポーツアカデミー「トレーニングアカデミー」

9月4・11・18・25日（全4回）、17時30分～18時30分。南毛利スポーツセンター（温水西1-27-1）。素早さやバランス能力の発達を目指した

トレーニング。市内在住の小学3～6年生30人。2000円（体験は1回800円）。☎ハガキまたはファクス、Eメールに講座名、〒住所、氏名（ふりがな）、学年、電話番号を書き、8月15日（必着）までに〒243-0039温水西1-27-1市体育協会☎247-7212・☎248-7151・e-mail=info@atsugi-taikyo.or.jpへ。抽選。

### 和菓子教室

9月5日、14時～16時。あつぎ市民交流プラザ。「練りきり」「きな粉餅」「ゆずの水ようかん」を作る。市内在住の勤在学中で中学生以上の方10人。1600円。☎☎電話またはファクスに〒住所、氏名、年齢、電話番号を書き、8月14日までに勤労者福祉サービスセンター☎206-4151・☎206-4611へ。抽選。

### 厚木青年会議所の公開例会

8月5日、19時～20時35分。厚木商工会議所。「笑顔あふれる厚木のために」がテーマの小林市長の講演と、「子育て環境の充実に必要なこと」がテーマのパネルディスカッション。定員150人。無料。☎当日直接会場へ。先着順。☎厚木青年会議所・中尾☎090-8053-1878。

### 斎場施設見学会

8月21日、①10時30分～②13時30分～。斎場（下古沢548）。見学と葬儀説明。定員各回30人。☎8月1～20日に市斎場☎281-8595へ。先着順。☎1

### 11月に開所予定の保育所に入所する児童を募集

《対象》11月1日に生後8週以上で、開所日に保護者が①月64時間以上の就労②妊娠・出産③疾病・負傷または障がいがある④同居または長期入院している親族の介護⑤就学一などの理由で保育できない乳幼児《開所施設》（仮称）みらくる保育園（飯山3191-2）《説明会》8月5・8日、10時～。社会福祉法人やすらぎ会第二森の里（飯山3425・☎248-3888。要予約）。☎保育所にある申込書に必要事項を書き、8月11日～9月10日（一次受付）、9月11日～10月9日（二次受付）に子

### あつぎ 元気Wave

### ケーブルテレビ

あゆチャンネル(11ch)

放送時間(15分)

### 8月の広報番組ガイド

8月1日～15日

◆平和へのメッセージ  
戦争経験者の話や座談会を通じ、戦争と平和を考えます

①12時～②19時30分～③22時45分～ ※内容や時間を変更する場合があります。

番組はホームページ動画配信 あつぎ元気Wave 検索 CATV放送開始後に配信

どもを連れて保育課☎225-2231へ。

### 「あつぎ国際大道芸」あつぎグルメフェアの出店者を募集

《日時》11月7・8日、10時30分～18時30分《場所》厚木公園《対象》市内18店舗《内容》飲食物の販売《出店料》4万円。☎商業にぎわい課にある申込書（市ホームページからダウンロード可）に必要事項を書き、8月26日までに直接またはファクスで〒243-8511商業にぎわい課☎225-2840・☎223-7875へ。抽選。

### 市民ふれあいマーケットの出店者を募集

《日時》9月6日（雨天時は13日）、9時～14時《場所》厚木中央公園《内容》家庭で不用になった物の販売（手作り品、食品、動植物の販売は不可）《対象》市内在住の方130店舗（高校生以下は不可）《出店料》500円。☎往復ハガキの往信面に〒住所、参加者全員の氏名、日中に連絡が取れる電話番号、販売品目、自動車の使用の有無（車種とナンバー）、返信面に返信先の〒住所、氏名を書き、8月14日（消印有効）までに〒243-8511環境政策課☎225-2749へ。抽選。

### 北部学校給食センターの給食調理員補助員を募集

《募集人員》若干名《勤務日時》平日、8時30分～15時15分《勤務場所》北部学校給食センター（三田172）《雇用期間》9～12月（更新あり）《賃金》時給980円《内容》中学校給食の調理補助と食器類の洗浄。☎市販の履歴書に写真を貼り、8月13日（必着）までに直接または郵送で〒243-0211三田172北部学校給食センター☎225-2653へ。8月17日に面接を実施。

### 児童扶養手当などを支給

要件を満たす方に、児童扶養手当などを支給しています。対象者には申請方法を案内しますので、事前に相談してください。

《児童扶養手当》父または母と生計を別にする児童を養育している方を対象に支給（1子目＝上限4万2000円。支給要件・所得制限あり。2子目以降は別途）《特別児童扶養手当》精神や身体などに障がいがある児童を養育している方を対象に支給（児童1人当たり上限5万1100円。支給要件・所得制限あり）。

### ■受給者の方は現況届の提出を

現況届は、手当を受給している方の児童の養育状況を確認し、今年度の手当額などを決定する手続きです。対象者には通知文を送付しますので、必ず届け出をしてください。

《提出期間》児童扶養手当＝8月3日～31日。特別児童扶養手当＝8月11日～9月10日。

いずれも問い合わせはこども家庭課☎225-2241。

### 本厚木駅連絡所（えきちよこ）を臨時休業

8月18日は駅ビル休館日のため、証明発行などの連絡所業務と観光案内所業務を休業します。☎市民課☎225-2110。

### みんなの声でつくるまち

### 《意見交換会》

■わがまち特例を導入した市税条例改正  
8月10日、19時～20時。市役所本庁舎。☎当日直接会場へ。☎資産税課☎225-2031。

### あつぎ健康相談ダイヤル24

☎0120-31-4156

### 大相撲厚木場所

### 「相撲のぼり旗」の協賛を募集



10月9日に荻野運動公園で実施される大相撲厚木場所の「相撲のぼり旗」に協賛していただける方を募集します。

《協賛セット（各10組）》※個人・法人・団体名を入れられます

①横綱応援セット＝10万円（横綱の名入れ可）

②大関応援セット＝9万円（大関の名入れ可）

③幕内セット＝8万円（上記以外の名入れ可）

いずれも協賛席（イス席S）2席と土産2セット付き。終了後は旗を進呈。「相撲のぼり旗」のみの協賛（4万円～）も可。

《対象》個人・法人・団体 《設置期間》9月下旬～10月9日

☎企画政策課などにある申込書（市ホームページからダウンロード可）を、8月1～31日（消印有効）に直接または郵送で〒243-8511企画政策課☎225-2450へ。先着順。

インターネットモニターからの意見を紹介

### ホットメール

Hot E Mail

7月1日号「広報あつぎ」を読んで

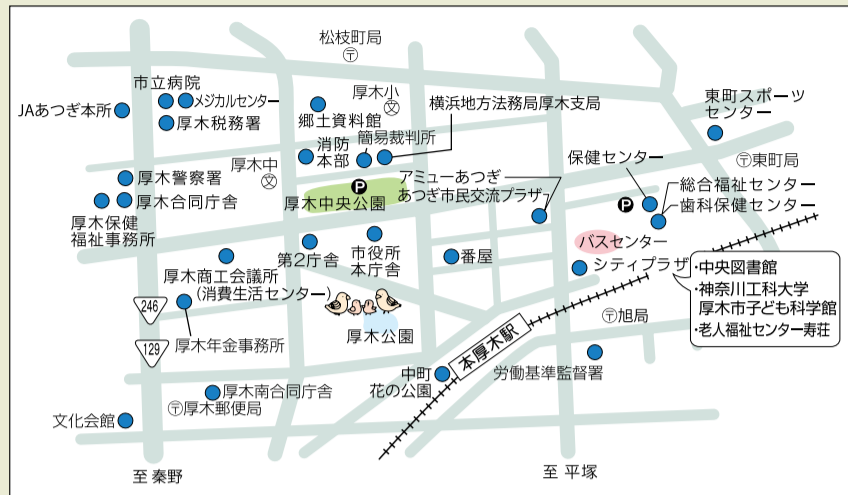
◆高齢者に向けた熱中症の注意喚起は、当を得ていて写真もいい／70代以上男性・戸室◆市が起業を後押ししてくれるのは心強い／40代女性・王子◆男性向けのフィットネスプログラムも増やしてほしい／40代男性・鳶尾◆4・5面の特集は、こんな取り組みがあったのかと思わせる記事だった／40代男性・上依知◆特定の店名は書けないと思うが、読者は上げられた店の名前なども知りたい／30代男性・恩名◆選挙の記事には、小学3年生の娘が興味を持った／30代女性・田村町

厚木市 インターネットモニター結果 検索

### 編集後記

終戦から70年がたとうとしています。年を追うごとに戦争体験を取材できる機会が減る中、「大きな特集を組むのは今しかない」と早くから企画を練ってきました。子どもたちにも読んでもらえるよう、用語の解説や配布部数を充実させました。国民の多くが戦争を知らない世代となった今、当時の記憶と平和の尊さをどう伝えていくかは大きな課題です。体験者の声には多くの教訓があります。子どもから大人まで多くの人に悲惨な戦争の記憶に触れてもらい、「戦争と平和」を考えるきっかけになればと思います。（清水）

# タウンガイド



8月							9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30			
30	31												

## 市制60周年記念事業

**マイタウンクラブ**  
 ①印の番号で、ウェブ上から詳しい情報をご覧いただけます。「①印」と記されたものは、申し込みもできます。  
[www.mytownclub.com](http://www.mytownclub.com)

**Gポイント**  
 ①印は、あゆこちゃんGENKIポイント「Gポイント」の対象事業です。数字分のポイントが付与されます。

## あつぎ青春劇場

①8月8日、15時～16時。唄う！青春劇場カラオケ大会（ゲスト・井上まり子）②8月22日、11時～12時30分。あつぎ青春劇場落語会（出演・春風亭一左）。

いずれも会場はアミューあつぎ9階。定員100人。500円。⑤商業にぎわい課 ☎225-2840。⑥1

## 中央公園で虫に親しむ「トンボやセミと遊ぶ」

8月23日、10時～12時（雨天中止）。郷土資料館集合。厚木中央公園で昆虫の観察と採集。定員30人。無料。⑧8月12日までに郷土資料館 ☎225-2515へ。抽選。①152065⑥1

## 情報プラザ夏休み子ども祭り

8月23日、9時～16時。情報プラザ。①オリジナルうちわを作ろう＝パソコンで写真やイラストを貼り付け、うちわを作る（13時～16時）②ネームシールづくり＝ネームシールを作る③いいね！縁日コーナー＝親子や友達同士で縁日

を体験する④夏休みプログラミング教室＝簡単なゲーム作成などを学ぶ（9時30分～12時30分）。①定員50人（先着順）②③自由参加④市内在住在学の小学3～6年生で、マウス操作・文字入力・ウィンドウの切り替えができる方16人（抽選）。無料。当日の貸館利用はできません。⑧①②③当日直接会場へ④往復ハガキに講座名、①印番号、〒住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号、市外在住の方は学校名を書き、8月9日（必着）までに〒243-0021岡田3050情報プラザ ☎220-2711へ。①②③152165 ④152166

## バスで行く環境エコツアー「里の恵みに触れあおう」

8月23日、9時～16時。横浜地方法務局厚木支局前集合。玉川の生き物探しとピザ作り体験など。市内在住在勤在学の方40人。1500円（材料代など）。⑧直接、電話またはファクスに〒住所、氏名、年齢、電話番号を書き、8月12日までに環境政策課 ☎225-2746・☎223-1668へ。抽選。①152151⑥1

## 市史歴史講座「市史資料から厚木の歴史を読み解く」

8月25日、14時～17時10分。あつぎ市民交流プラザ。民俗編「家と寺社の普請」、古代通史編「民衆のくらしと信仰」を執筆者が解説。市内在住在勤在学の方40人。⑧当日直接会場へ。先着順。⑨文化財保護課 ☎225-2060。①152155⑥1

## 応急手当普通救命講習会

8月22日、9時～12時。睦合分署（三田1475-1）。心肺蘇生法、大出血時の止血法、自動体外式除細動器（AED）の取り扱いなど。市内在住在勤在学中で中学生以上の方30人。無料。⑧8月12日までに救急救命課 ☎223-9365へ。抽選。①141752⑥5

## からだいきいき運動教室

①Aコース＝9月7日～12月7日の月曜（全12回。10月13日、11月24日は火曜）。9時10分～10時50分。あつぎ市民交流プラザ。定員30人。②Bコース＝9月2日～11月18日の水曜（全12回。9月24日は木曜）、10時～11時50分。南毛利スポーツセンター（温水西1-27-1）ほか。定員30人。③Cコース＝9月2日～11月25日の水曜（全12回。11月5日は木曜）、10時～11時50分。荻野運動公園（中荻野1500）。定員30人。④Dコース＝9月7日～12月7日の月曜（全12回。10月13日、11月24日は火曜）、11時～12時40分。あつぎ市民交流プラザ。定員30人。いずれも対象は市内在住で65歳以上の方（要介護認定者を除く）。無料。⑧直接、電話またはハガキ、ファクスに教室・コース名、〒住所、氏名、生年月日、電話番号を書き、8月14日（必着）までに〒243-8511健康長寿課 ☎225-2388・☎221-1640へ。抽選。①152121②152123③152124④152125⑥1

## 脳とからだのいきいき運動教室

9月10日～11月26日の毎週木曜（全12回）、13時30分～15時30分。厚木YMCA（中町4-16-19）。認知症予防を取り入れた運動教室。市内在住で65歳以上の方25人（要介護認定

者を除く）。無料。⑧直接、電話またはハガキ、ファクスに教室名、〒住所、氏名、生年月日、電話番号を書き、8月14日（必着）までに〒243-8511健康長寿課 ☎225-2388・☎221-1640へ。抽選。①152126⑥1

## アクア転倒骨折予防教室

9月3日～11月19日の木曜（全12回）、10時～12時。総合福祉センター。水中で行う軽運動。市内在住で65歳以上の方20人（要介護認定者を除く）。無料。⑧直接、電話またはハガキ、ファクスに教室名、〒住所、氏名、生年月日、電話番号を書き、8月14日（必着）までに〒243-8511健康長寿課 ☎225-2388・☎221-1640へ。抽選。①152128⑥1

## 物忘れ予防・脳いきいき教室

9月3日～10月22日の毎週木曜（全8回）、14時～16時。あつぎ市民交流プラザ。軽運動を取り入れた認知症予防教室。市内在住で65歳以上の方25人（要介護認定者を除く）。無料。⑧直接、電話またはハガキ、ファクスに教室名、〒住所、氏名、生年月日、電話番号を書き、8月14日（必着）までに〒243-8511健康長寿課 ☎225-2388・☎221-1640へ。抽選。①152127⑥1

## 健康運動指導士が教える「運動量を稼ぐコツ」

①8月20日、11時～12時30分。総合福祉センター②8月23日、19時30分～21時。保健センター。日常生活の中で効率よく運動量を増やす工夫を健康運動指導士が講演。市内在住40～64歳の方各回20人。無料。⑧8月5日から健康づくり課 ☎225-2201へ。先着順。①152163⑥5

## DV気づき講座「『自分を大切にすること』」

9月3日、14時～16時。あつぎ市民交流プラザ。身近に起こりうるDVを社会福祉士が説明。県内在住在勤在学の女性30人。無料。託児あり（1歳～小学3年生。8月16日までに要予約）。⑧8月26日までに県立かながわ男女共同参画センター相談課 ☎0466-27-2111（代表）へ。抽選。

**農業まつり味覚祭** ①190219

**ナシ、ブドウもぎ取り体験**

《日時》8月28日  
 ①10時～②13時30分～（雨天中止）  
 《集合》市役所本庁舎南側駐車場（バスで送迎）  
 《内容》市内果樹園でのもぎ取り体験  
 《定員》市内在住在勤在学の方各回20人  
 《参加費》無料  
 ※もぎ取り代金（量り売り）は実費  
 ⑧往復ハガキに〒住所、氏名、電話番号、希望時間、人数を書き、8月18日（必着）までに〒243-0004水引2-10-38 JAあつぎ指導販売部 ☎221-2273へ。抽選。




**第2回あつぎミュージックフェスティバル**

**二次審査の観覧者を募集**

優勝グループは、有名アーティストとの共演や配信デビューができる音楽イベントです。一次審査の合格者によるライブ形式の二次審査を開催します。ぜひ、ご来場ください。

《日時》8月26日 10時～17時30分（予定）  
 演奏スケジュールは、8月20日に市ホームページに掲載  
 《会場》ライブハウス「Thunder Snake ATSUGI」（旭町1-22-20 1階）  
 《定員》300人 《入場料》無料  
 ⑧当日直接会場へ。先着順。⑥1  
 ⑨文化生涯学習課 ☎225-2508



**横手市訪問団** 参加者募集

横手市（秋田県）との友好都市締結30周年を記念し、訪問団の参加者を募集します。

《期間》10月3～5日（2泊3日）  
 《対象》市内在住で18歳以上の方15人  
 《内容》横手市合併10周年記念イベントへの参加や、第10回増田「蔵の日」の見学など  
 《参加費》4万3000円程度（交通費、宿泊費など）  
 ⑧ハガキに〒住所、氏名（ふりがな）、年齢、性別、電話番号を書き、8月17日（必着）までに〒243-8511広域政策課 ☎225-2050へ。抽選。説明会あり。  
 ①352010公募⑥1

蔵の中を見物できる「蔵の日」





心地よいJAZZと多彩な食で至福のひとときを

JAZZ  
ATSUGI  
NIGHT

# あつぎジャズナイト

## 2015

夏の夜に、ジャズの音色とおいしい食事を楽しみませんか。プロ奏者や在日米陸軍軍楽隊、大学や企業のバンドが出演します。フードコートには20店舗が軒を連ね、地ビールやウィナー、ローストポークなどを楽しめます。

問 商業にぎわい課 ☎225-2840

日時 **8月20日(木)・21日(金)**  
15時～21時

会場 **厚木公園**

内容 ジャズステージ、フードコート、オリジナルグッズ販売

### 主なステージスケジュール

#### 20日(木)

- 東京工芸大学、東海大学ほか / 15時～
- SPICY KICKIN' (本厚木キャビン Special) / 18時10分～
- Harmonica Duo Bom x Boa (マッカーサーギャレッジ Special) / 19時05分～
- Big18オーケストラ / 20時～

#### 21日(金)

- 専修大学、神奈川工科大学ほか / 15時～
- 稲村和佳奈 / 16時45分～
- Kyoto Jazz Sextet (本厚木キャビン Special) / 17時20分～
- 日産B&S JAZZオーケストラ / 19時～
- 在日米陸軍軍楽隊 / 20時～



## 作品募集 あつぎ映像コンテスト

厚木の魅力を映像で発信してみませんか。皆様のご応募をお待ちしています。

### 部門

①ドキュメンタリー部門 (7分以内)

《対象》市内の人物・団体・自然・歴史・観光・イベントなどを題材とした記録・ドキュメンタリー作品 (実写に限る)

②CM部門 (1分以内)

《対象》市の魅力を凝縮したCM作品 (実写・アニメ・CGなどの形式は不問)

提出形式 DVD

賞 総合グランプリ (10万円)、部門賞、協賛企業賞など

申 広報戦略課などにある応募票 (市ホームページからダウンロード可) と作品を直接または郵送で、11月13日 (必着) までに〒243-8511 広報戦略課へ。



### ★映像制作のワークショップを開催★

日時 8月21日、10時～12時

会場 アミューあつぎ9階 ホール112

内容 専門家がカメラの操作方法やドキュメンタリーの撮り方を解説

定員 100人 費用 無料

申 8月14日までに広報戦略課 ☎225-2040へ。先着順。

問 広報戦略課 ☎225-2040

あつぎ映像コンテスト

検索

「広報あつぎ」では、自主財源確保のため広告掲載事業を実施しています。広告掲載の申し込みは(株)相鉄エージェンシー ☎045-450-1804へ。